

令和元年度 指定管理者施設管理評価シート

			<b>部課名</b>	文化産業観光部産業振興課		
<b>施設名称</b>	3	東京都台東区立産業研修センター	<b>指定管理者</b>	公益財団法人台東区産業振興事業団		
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		<b>指定期間</b>	H28. 4. 1	～	R3. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	台東区の中小企業の振興及び勤労者等の福祉向上並びにものづくりに携わる事業者の育成を図り、もって区内産業の活性化に寄与する。
(2)	[所在地]	台東区橋場1-36-2
	[規模]	●旧館：延床面積 932.78㎡ RC造3階建 事業者支援施設(貸事務所9室) 機械研修室 ●新館：延床面積 1,179.04㎡RC造4階建(4階橋場老人福祉館併設) 会議室 研修室 皮革産業資料館兼図書コーナー
(3)	[委託事業]	サービス提供：登録団体への各研修室、会議室等の貸出 事業者支援：浅草ものづくり工房入居者への支援
	[自主事業]	中堅技術研修・革工藝教室・CAD講座・語学教室・情報化、国際化支援セミナー・太極拳教室等実施
(4)	[利用者]	区内在住・在勤者 登録団体
	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他 ( )
(5)	[開館日・時間]	①毎週月曜日 ②国民の祝日に関する法律に定める休日(月曜日の場合はその翌日) ③1月2日、3日 ④12月29日から31日まで を除く毎日・午前9時～午後10時
(6)	[人員体制]	5名 (内 訳) 産業研修センター所長1名、事務職員4名  (前年増減) +1名

2. 予算決算

		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算
収入	委託料(指定管理料)	16,906,000	16,040,547	17,065,000	16,120,360
	利用料金収入	4,296,000	3,836,215	4,296,000	3,902,220
	その他収入( )	1,661,000	1,658,233	1,668,000	1,648,646
	計	22,863,000	21,534,995	23,029,000	21,671,226
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	3,199,000	2,961,341	3,243,900	3,237,007
	維持管理費(委託料・賃借料)	16,102,000	15,988,769	16,861,100	16,361,455
	修繕費	581,000	550,180	385,000	264,555
	事業費	2,933,000	2,009,505	2,471,000	1,782,399
	その他支出( )	48,000	25,200	68,000	25,810
	計	22,863,000	21,534,995	23,029,000	21,671,226
<b>収支</b>			0		0

3. 活動指標

	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
会議室貸出件数	件	550	523	520	653
ものづくり工房入居者数	件	9	9	9	9

4. 成果指標

	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
卒業企業数・累計(廃業除く)	社	30	19	21	24
卒業者の区内定着数	社	2	0	2	2

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

近隣で会議室利用のできた公共施設が閉鎖されたこともあり、会議室の利用件数は大きく増加した。また、浅草ものづくり工房では、地域のイベントに合わせた施設公開や、浅草文化観光センター展示室を利用した「ものごクリエイター展」を開催する等、活発に活動し、広く施設全体のPRに努めている。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書や報告書の作成・提出は適切に行われ、個人情報保護や災害対策マニュアル等の各種マニュアルに基づく体制ができている。研修センターと区の営業日が異なることもあり、担当同士の間で軽微な問題がある。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	開館日時の遵守等、基本的な部分は確実に遂行され、利用者への対応も適切である。中小企業の振興等の施設目的に合わせた講座も計画通り実施されているが、施設利用・講座受講の促進について、さらなる取り組みが必要。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	建物や設備、備品等について適切な保守管理及び区への報告が行われている。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	各種セミナー受講者のアンケート結果の反映や、皮革関連団体の事務局長との意見交換を行うことで、利用者や産業界のニーズ把握に努め、施設運営に反映している。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	施設管理、自主事業実施に際してコスト削減を図り、効率的な運営が行われている。利用料金収入はやや増となっているが引き続き利用促進と効率化追求を続けることが必要。
(6) 優れた取り組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
3 点	教員等を対象とした革工芸講座を開催し、教育現場における地場産業の取り上げを期待する産業界のニーズにも即した活動を実施している。
7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 98 / 110点)	<b>【所見】</b> 概ね協定等に基づいた適切な運営がなされている。また、利用者や産業界のニーズを受け、事業に反映する工夫をしている。施設の利用促進のため、PRの多様化に取り組む必要がある。
	<b>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</b> 会議室貸出や講習・セミナーといった施設の利用促進のため、例えばSNSの一層の活用といったPR手段の多様化が求められる。